

ILS進入方式への影響の概要

高カテゴリー

精密進入着陸を行う場合、それぞれのカテゴリーに応じた滑走路視距離（RVR：滑走路中心線上の航空機のパイロットが滑走路中心線灯などを視認できる最大距離）や決心高（DH：その高さにおいて精密進入に必要な視覚目標物が見えなければ進入復行しなければならないという高さ）が決められている。

例えば、CAT I 運航はRVR550メートル以上且つDH60メートル以上、CAT II 運航はRVR300メートル以上且つDH30メートル以上、CAT IIIa運航はRVR175メートル以上及びCAT IIIb運航はRVR50メートル以上から175メートル未満で、自動操縦によって精密進入着陸を安全に行うことができる。

SSP(Special Safeguards and Procedures)体制

カテゴリー II / III 運航を可能にする必要な要件が整っている体制をいう。必要な要件とは、航空保安無線施設、航空灯火施設及びRVR機器がカテゴリー II / III 運航に供することができる状態にあり、かつILS制限区域が確保されていることをいう。

カテゴリー区分	実施箇所
CAT-II	東京34R ILS、中部18ILS、関西06L/06R/24R/24L ILS
CAT-IIIb	新千歳19R ILS、釧路17ILS、青森24ILS、成田16R ILS、中部36ILS、広島10ILS、熊本07ILS

平成26年4月1日現在

